



# 安心・安全を 目指す消防団

現在 50 人で組織している砂川消防団。火災・水害・地震などの災害が起こったとき、消防署と連携して活動します。地域における消防防災のリーダーとして、平常時・非常時を問わず地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っている消防団について紹介します。

## 消防団の目的と主な業務内容

消防団は、消防本部や消防署と同様、消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。消防職員とは違いほかに本業を持ちながら活動をしているため、災害時には自宅やそれぞれの職場から現場へ駆けつけ、その地域での経験を活かした消火活動や救助活動を行います。

災害現場では火災時の消火をはじめ、地震や風水害といった大規模災害発生時の救助・救出、警戒巡視、避難誘導、災害防御などさまざまな役割があるため日頃から訓練や研修を行っています。また、地域の防災意識の向上のため救急指導、火災予防運動、消防出初式（梯子乗り）、市民防火のつどいなどを行っています。

### 令和 4 年度は 消防団の力向上モデル事業を実施！

総務省消防庁による「消防団の力向上モデル事業」の採択を受け、水害対応力向上などを目的に「水害発生時の水防工法及び避難誘導訓練、イメージアップ事業」を実施しました。

近年、全国的に豪雨による災害が多く、砂川市でも昭和 36～37 年、同 56 年、平成 28 年などに発生した水害により大きな被害を受けたことがあることから、川の氾濫などが起こった場合を想定し、昨年 10 月に各種土のう工法（水防訓練）を学び、1 月には避難誘導訓練（座学）を行いました。





第一分団 班長  
佐藤 佑太 さん (39)

### 仲間と支え合い やりがいがある消防団活動

消防団に入り 11 年になります。普段は増建に勤務しています。ほとんどの団員が働いていますが、災害発生時には招集を受け各種災害活動にあたります。そのための訓練を行うほか、消防演習や火災予防広報などさまざまな取り組みを行っています。

砂川市では毎年 1 月 6 日に「消防出初式」を開催し、1 年間の無火災無災害を祈念して梯子乗りを披露していますが、私は平成 28 年から 8 年間担当しています。初めは高い梯子の上での恐怖心や特殊な動きに慣れず苦勞しましたが、梯子をしっかりと支えてくれる仲間を信じ、今では自信をもって演技をすることができます。

災害活動も梯子乗りも危険を伴いますが、消防団活動で得た知識や経験は日常生活でも役に立ちますし、いざというときに地域に貢献できると思うとやりがいを感じます。今後も仕事と消防団活動を両立していきたいと思えます。



## 消防団のこと、もっと教えて!!

**Q** 消防団で活動している人ってどんな人？

**A** 消防団員は、本業を持ちながら「自らの地域は自ら守る」という精神に基づき消防防災活動を行っています。会社員、自営業などさまざまな職種の方がいます。



**Q** 仕事をしながら訓練などもあって大変そうですね？

**A** 訓練は主に土日や夕方以降に行われるため問題なく両立できています。大変なときもありますが、職場や家族の理解もあり、家族は「災害があったときに心強い」と頼もしく思ってくれているようです。

**Q** 力仕事のイメージが強いですが、女性でも大丈夫？

**A** 火災や水害時などは、放水や土のう運搬作業など力を使う仕事もありますが、防火訪問、応急手当の普及指導、イベントや広報活動などで女性団員が活躍しています。

**Q** 消防団活動をやっていてよかったことはありますか？

**A** 地域の人とふれあう機会が増えますし、火災の予防や対応方法、まちの防災対策など、安心・安全な暮らしについて学ぶことができます。

## 活動服は、みまもりんごのオリジナル腕章が目印!

消防団の活動服と防寒着に付ける「災害時避難誘導協力員」の腕章を作製しました。砂川市の高齢者見守りキャラクター「みまもりんご」を使用したデザインになっています。



## 入団者 募集中!

砂川消防団では、入団希望者を随時募集しています。

自分が住むまちを自ら守っていきませんか!

- ・市内に居住する 18 歳以上 50 歳未満で健康な方
- ・年額報酬および出勤報酬あり
- ・消防団活動中に負傷した場合の補償制度あり

〒砂川消防署管理課消防団係

Tel 54-2196

